

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月12日

事業所名 発達支援ルームAQUA

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		グループに応じ、近隣のスポーツ施設等を利用して	継続して取り組みたい。
	2	職員の配置数は適切である	6			余裕を持って配置している。	継続して取り組みたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	1	完全にバリアフリーではないが、来所している子どもにあわせた配慮がされている。	利用者に応じ、バリアフリー化等について検討する。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		第三者委員会の設置について今後の検討課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				継続する。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			専門職を配置し、検査などのアセスメントに従事させている。	継続する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			専門職を配置し、検査などのアセスメントに従事させている。	継続する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			毎日ミーティングを実施している。	継続して実施する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		1		遊びが同じになりやすくバリエーション増やしたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		夏休みには水遊びを実施している。グループに応じ、野外活動等を実施している。	さらなる充実に向け取り組みたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		毎日ミーティングを実施している。	「十分出来ない場合もある」との意見もあり、ミーティングの時間設定等を含め見直しをしたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2			対象児により異なるが、さらなる充実に向け、取り組みたい。(アセスメントの強化)	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				可能な限り参加しているが、全てとは言えないた め、今後の課題であり、出来るだけ参加に努め たい。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	3	1	2		送迎を行っていない。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			1	5	該当児なし	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4			2		対象児により異なるが、さらなる充実に向 け、取り組みたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4		2			該当児がいない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6					
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある				6	実施していない。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	6				代表者が参加し ている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6					「もう少し保護者とのコミュニケーションの機会が必要」 との意見もあり、人為配置などを工夫して、担当者と保 護者が意見交換できるような機会を更に増やしたい。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4			2	サポートブック作成を 通し、子どもの特性 理解に向け取り組ん でいる。	PT等の実施について、needsを調査し、可能 な限りで対応していきたい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6					
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6				保護者が毎回来所して おり、コミュニケーションを図る よう心がけている。適宜個 別に面談を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	6				ピアカウンセリング の要素を含んだ勉 強会等を実施して いる	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6					
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3		2	1	掲示板に活動の 様子を貼り出す 等している	現状は、活動内容やグループに限るため、 さらなる発信の必要性について検討したい。
	35 個人情報に十分注意している	6					
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6					
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている				6	実施していない。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1		5	該当児なし	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	3	定期的な食事の提供を行っていないため。	調理時の確認が必要であるため、活動の立案に合わせ実施する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		4	毎日のミーティングで情報共有している。	職員間で報告し共通理解を図っている。